

「丸投げ外注」で失敗しない！
発注者が主導するシステム開発の第一歩

システム

外注

初めの一歩

★乗り遅れるな！DXの波

こんな悩みはもう卒業

外注との揉め事はもう勘弁。。

システムの外注
どう進める？

依頼書作り
が大変

ベンダー任せから

自走できる発注者へ

発注の仕方ひとつで成果が変わる！
あなたの外注力をアップデート！

外注トラブルを未然に防ぐ！
DX時代の賢い発注スキルを伝授

講師

坂東 大輔

兵庫県よろず支援拠点
コーディネーター



日時

2025 12/23 (火)

会場

神戸市産業振興センター
8F 801

定員

20 名

対象

13:30 スタート

- DX推進やIT企業との取引を担当している方
- 過去にIT企業への外注で揉め事になったことがある方
- 正しい依頼書や発注書の作り方を教えてほしい方

参加費
無料

■ 申込方法

Webでの申込は
こちらのQRコードから



電話での申込：078-977-9085

受付時間 9：00～17：00（祝日を除く月～金）

システム外注 初めの一步

★システム外注するくらいなら内製する方がマシなのか？★

日本企業がITベンダー等にシステム開発を外注した際の「成功」とは、当初定めたQCDを達成して、発注者の要望を満たすことを指します。QCDとは、品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)を指します。この定義に基づくと、日本国内のシステム外注プロジェクトにおける成功率は約30%程度とされています。

つまり、多大な資金と労力を費やす割には成功率(期待値)が低い"ギャンブル"になっています。プロジェクト失敗の原因をITベンダーに押し付ける発注者が多いです。しかし、失敗の要因として大きいのは「発注者の無知と怠慢と他責志向」です。まず、IT素人である発注者なりに出来る事を行う必要があります。具体的なアクションとして、業務フロー図やRFP(提案依頼書)の作成が挙げられます。

講師

坂東 大輔

兵庫県よろず支援拠点
コーディネーター

ChatGPTを含むAIが得意です。診断士(経営学)&技術士(IT)の文理二刀流です。IoT専門書の著者であり、IoTを活用した新製品開発の実績があります。神戸のエンジニアリングサムライがDX推進を助太刀いたします。



【専門分野】
IT活用、商品開発、現場改善、生産性向上、人材育成

【セミナー内容】

第1部 全体セミナー 13:30~14:30 (予定)

テーマ「ベンダーにシステム開発を丸投げするな！

外注先とのトラブル防止！」

1. 私のシステム外注体験談
坂東講師のオフショア開発の経験談、日本国内と海外のIT事情の違い
2. システム発注の基本的な考え方
AS-IS(現状)、TO-BE(理想像、要件)、業務フロー図、RFP(提案依頼書)

第2部 グループワークと質疑応答 14:50~16:00 (予定)

★ご自身で業務フロー図、RFP(提案依頼書)を作成してみよう！

兵庫県よろず支援拠点

TEL : 078-977-9085

FAX : 078-977-9120

公益財団法人

ひょうご産業活性化センター内

神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階

<https://web.hyogo-iic.ne.jp/keiei/yorozu>

E-mail : h_yorozu@staff.hyogo-iic.ne.jp

受付時間 9:00~17:00 (祝日を除く月~金)

